第581回遊佐町議会定例会一般質問通告書

令和7年9月定例会

通告順	通告者	質問事項	要旨
1	9番 菅原 和幸 (一問一答)	1.「公共施設等総合 管理計画」の次期 計画は	公共施設等を長期的視点で、更新・統廃合・長寿 命化などを計画的に行う「公共施設等総合管理計画」は令和7年度が最終年度となる。新たな役場庁舎 の開庁から4年が経過する中、旧高瀬小学校に移転した「開売瀬まちづくりセンター」は57年間の歴史に 幕を下の5年1月になり、日本計画では一方である。 令和5年1月に基本でのである。 令和5年1月に基本では一方の方面では一方でである。 令和5年1月に基本では一方の方面では一方の方面では一方の方面では一方の方面では一方の方面では一方の方面では一方の方面では一方の方面では、小山崎遺跡が大きないでは、小山崎遺跡では一方の方面では、小山崎遺跡では一方の方面では、一方では、一方ででは、一方ででは、一方ででは、一方ででは、一方ででは、一方ででは、一方ででは、一方ででは、一方ででは、一方ででは、一方ででは、一方ででは、一方ででは、一方ででは、一方でである。 日本では、一方ででは、一方でである。 一方ででは、一方ででは、一方では、一方ででは、一方ででは、一方ででは、一方でである。 日本では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方でである。 日本には、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方ででは、一方では、一方

通告順	通告者	質問事項	要旨
順	11番 斎藤 弥志夫 (一問一答)	1. 自転車交通違 反について	警察庁は自転車の交通違反に対して車やオートが イと同様に青切符による取り締まりを来年4月1日から行う。自転車の交通事故が重大事故で死亡した324人の内82%にあたる266人には自転車側にも前方不注意や信号無視、一時不停止などの法令違反が確認されている。 自転車の反則金の具体的な例を挙げると携帯電話を使用しながらの運転は12,000円となって通ルを関係でで変通ルを連切とりのでで変通があることや、ることを関いては、反則金の安全な運転を促している。 町民自転車研修会を開いて町民に啓発しての安全な運転を促している。 町民自転車研修会を開いて町民に啓発してのまた、小学校や中学校でも自転車研修会を開いて助金を表もも開いて助金を表もも開いて対象となる。また、小学校や中学校でも自転車研修会を向また、小学校や中学校でも自転車研修会を対応を同り、学校側の対策と対応を伺う。
		2. 国勢調査	国勢調査は日本に住む全ての人と世帯を対象にして行われる国内の人口や世帯の実態を明らかにするための最も基本的な統計調査である。国や地方公共団体の行政施策、民間企業や研究機関の基礎データとして幅広く利用される。 国勢調査を実施する上で、問題と課題もある。調査員が世帯に会えない、世帯に会えても協力してくれない、聞き取り調査が出来ない、調査事確保の困難化、調査票を搾取する事件の発生などの問題の発生を最低限度にする必要があるし、今年の国勢調査を円満に行う上で町の対策と対応がどのようなものか何う。

通告順	通告者	質問事項	要旨
	通 告 者	1. 水道事業の持続可能性について	水道事業会計の収支はほぼ収支均衡の状況にあります。そのような中で、大楯浄水場は建て替えが予定されており、かなりの支出が見込まれます。送水管等の設備についても定期的な更新が必要ですが、物価高の現状を鑑みれば、その費用は今後上がっていくことが見込まれます。人口減少も進んでいくことが見込まれます。1.単価改定の検討 将来試算についてお伺い 考えられているものと拝察は下のでしょうか。 2. 広域事業化市では地域では広域化が進んでされているのでしょうか。 2. 広域事業化市町が、遊佐町では広域の検討にところもありますが、遊佐町ではなく、山間部などは自まが、カ規模水道の検討とこるのではなく、山間部などは自まが、近による小規模水道による管理ものでしょうか。 3. 小規模水道による管理も選択肢としてあますが、その検討はなされているのでしょうか。
3	1番 遊佐 亮太 (一問一答)	2. 基金運用方針について	当町においては現行20本超の基金が存在しています。それぞれの基金はそれぞれの条例に基づいて運用されていますが、その条例の中には、目標金額、上限金額、取り崩し規定が示されていないものもと積みあがっている雑額はこの数年でじわじたされているからか、金額が動いていように見える基金も存在しています。そこで以下の点についてお伺いします。 1.財政調整基金総務省の平成29年調査によれば、財政調整基金を標準財政規模の5~20%の範囲に設定する自治体が大多数で、とくに10%前後に集中しています。。当町の標準財政規模は概ね50億円強でするを分のでしますが、これは標準財政規模に関連を目標でいるとります。これにはどのような意図、理由、目的があるのでしょうか。 2.基金統廃合の検討しまっない基金について、統廃合の検討はなされないのでしょうか。 3.基金全体の考え方基金の数、総額について、基本的な考え方をお伺いします。

通告順	通告者	質問事項	要旨
4	6番 本間 知広 (一問一答)	1. 遊佐町総合発展計画の考え方は	町の最上位計画である総合発展計画が1年前倒しで 策定される。「社会情勢への変化に対応するため」 との理由である。またこれに「遊佐町まち・改定されるとのまたこれに「遊佐町まち・で策定されるとのまれに「遊佐町として策定されるとである。この2つの計画、名称は違うが目的はほぼ同じであると認識していたので、考え興審議会の審議内容は、基本構想、基本計画、実施計画、3層になっており、それぞれの期間として10年、5年、3年となっている。つまり、正の先10年後の遊の3層になっており、それぞれの期間として10年、5年、3年となっている。一日の現状として人口減少が大きな課題となっている。10年後は、昨日の現状として人口減少が大きな課題となっている。10年後は、昨日の現状として、10年後は、新・道の駅上のでは、10年後は、1新・道の駅上でおり、8年度には「新・道の駅上をは、1が予定されている。また、生涯学習では、1が予定されている。また、生涯学習では、1が予定されている。また、生涯学での他にも多くの課題がある。そうして公式の状況や社会情勢、財政状況を踏まれて、どのような考え方で今後10年の計画を立てているのか伺う。

通告順	通告者	質問事項	要旨
5	2番 伊原 ひとみ (一問一答)	1. 遊佐町内を移動す るための現状、課題、 後について	R7年度現在、遊佐町内を移動するため自家用車でで、遊佐間のIR、各クールバス、乗車。として、変託、運行しているスクールバス、乗車。とに、ガクシー券での身力シー券での身力シー乗車。とれて、当ちづくり協議会と社会福祉協議会が連携をして、方護タクシーや民間タクシーを11回の買物送迎サービス等がある。他に介護タクシーや民間タクシーも利用できる。遊佐町の老年人口割合も2025年で46.7%と推定されて見えている。この者を10回のでは、11年を増れるものは、11年を増加るを要ないですがより、11年を増加を10,000人を要ないでは、11年を境に年間利用を10,000人を切っても事業には、1882人機時間も、第10,000人を切っては、11年を境には、1882人間である。乗車利用がるの人を切っては、11年を境には、1882人機時間も、10,000人を切っても別の歳出がされている。でで年間利用を10人を切っても関連を表している。利用が、100人を切っても関連を表している。利用が、100人をがある。とは、11年を増入が、11年を増入が、11年を増入が、11年を増入が、11年を増入が、11年を増入が、11年を増入が、11年を対している。がより利用が、11年を対している。でのは、11年を対している。は、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、11年では、1

通告順	通告者	質問事項	要旨
6	4番 今野 博義 (一問一答)	1. 遊佐町における公 共工事の入札の考 え方	遊佐町において入札を行う際の町長の考え方をお聞きする。 令和7年6月30日に蕨岡まちづくりセンター改築工事の入札が落札された。7社による入札であり地区住民にとっては念願の「工事開始」に向けての第一歩である。一度目は入札不分離発となり6月定例会の一般質問において、今後の分離発注等の事業者からの要望があることをお聞きしたところである。町のホームページでは条件変更であるからか、一回目、二回目との変更点・予定価格がどのよう落についてのこれまでの町の分析結果をお聞きする。今後「新道の駅」建設のための入札を控える中、近隣市町村の入札方法と比較しながら、町の公共工事入札への考え方をお聞きする。
7	7番 那須 正幸 (一問一答)	1. 新規就農者、町は どう増やす	これまで町は、「チャレンジファーム事業補助金制度」を行い、将来の遊佐町農林水産業の担い手の育成と、定住人口の増加を図るための事業を行ってきた。目標となる年間1名の成果数値は達成しているが、昨今の進む高齢化による農業離れ、また廃業者の増加により後継者問題が大きな課題となっている。町では令和7年度の主要施策とし、産業振興の充実の中に、所得の向上と後継者育成を図るため、新規就農サポート事業を新たに重要事業と掲げ、町政座談会でも説明をしているが、事業内容を見ると新たなサポート事業は8項目、中でも注目するのが「親元独立就農者支援事業」である。文字通り親から子どもへと引き継ぐためへの支援と見れるが事業の内容と今後の取り組みについて伺う。

通告順	通告者	質問事項	要旨
	五 (一問一 (一問一 (一問一 (一問一 (一問一 (一問一 (一問一 (一問	1. 町が管理する道路 標識の劣化が進む 中、安全管理と更 新の計画について	道路標識は町民や町外から来られる方々が安全に通行されるための重要なインフラであり、交通事もの未然防止や災害時の避難にも重要な役割を担うである。しかし、現状は長年設置されたまでである。しかし、ないものや、錆びや傾きで通行者が日中でも認識出来ないものが町内至る所に散見される。 当町は、積雪や強風に加えて海からの塩害による劣化が連する状況下のまま放置し、続きなど法的責任を問われば交通安全上のリスクが高まるど法的責任を問われば交通安全上のた損害賠償など法的責任を問われることも十分考えられる。町の高齢化が進み、より一層の安全運転対策に努めなければならない立場にある町当局が、視認性の悪い道路標識を早急に対処する考えかをお聞きする。
		2. 特定空き家に関す る町の対応方針に ついて	近年増加する空き家に関して近隣住民からは不安の声が多く寄せられている。特に高温多湿の気象が続けばますます雑草や病害虫が繁殖し、更には鳥獣の棲みかにもなる危険性もはらんでいることから地域の安全な暮らしに深刻な影響を及ぼしている。平成25年に施行された空家等対策の推進に関する特別措置法(空家法)に基づき、市町村長が指定する「特定空き家」について、当町ではR6年度調査で全体の3割(170件超)を占めており周辺住民の安全確保の観点からその対策が急がれる。町はこのことについて早急に住民の切実な要望に応えるため、具体的にどのような対策を講じ、且つ計画的に課題を解決していく考えかお聞きする。

通告順	通告者	質問事項	要旨
川川	8番 佐藤 俊太郎 (一問一答)	1. 健康寿命の延伸施 策は	ア. 令和6年策定の「遊佐町国民健康保険第3期データ ヘルス計画及び第4期特定健康診査等実施計画」では 「過去の取り組みの成果・課題を踏まえ、より効果 的・効率的に保険事業を実施するため」とされてい ます。 新規事業として「高齢者の保健事業と介護予防の 一体的な実施事業」が策定されましたがその進捗状 況をお伺いいたします。 イ. 令和7年7月1日策定の「遊佐町電力データを用い たフレイル予防事業」の周知方法と利用申し込み状 況をお伺いいたします。
9		2. 熱中症対策における提言	報道によりますと8月22日午後0時半ごろ、遊佐町吉出の畑で81歳の女性が倒れているのを女性の家族が発見し、消防に通報しました。女性は、自身が所有するビニールハウス脇で草刈り作業をしていたということです。女性は体温が高い状態で見つかったため熱中症とみられ、心肺停止の状態で病院に搬送されましたが、その後、搬送先の病院で死亡が確認されたとのことです。 同様事案の未然防止のための防災行政無線を最大限に活用し、注意喚起放送を適時適切に実施することを制度化すること。休日においても実施できるよう機器の整備調整を実施することを提言いたします。
1.0	3番 駒井 江美子 (一問一答)	1. 町の不登校の現状 と対応は	文科省の発表では、R5年度の不登校の小中学生は、34万6000人を超え、11年連続で過去最多となっている。H29年に教育機会確保法が制定され、不登校の子どもたちに対する支援などを規定している。町は、不登校の児童・生徒とその保護者たちに情報提供も含め、支援・対応を行っているのか、現状をお聞きする。
10		2. 遊佐沖洋上風力 発電事業について	7月に初めて事業者による事業説明会が6地区で実施された。風車が岸から近いこと、風車の位置がまだ示されないなど、健康被害のことなど、疑問や心配の声があった。住民合意のもと進んでいるはずの事業だが、まだ不安の払しょくや理解はそこまで進んでいないように見える。今後町はどのように対応していくのかお聞きする。